

オレノイモウ コナンニカワイ ワケガナイ

フミゾ
Fujibayashi

4



成年向け

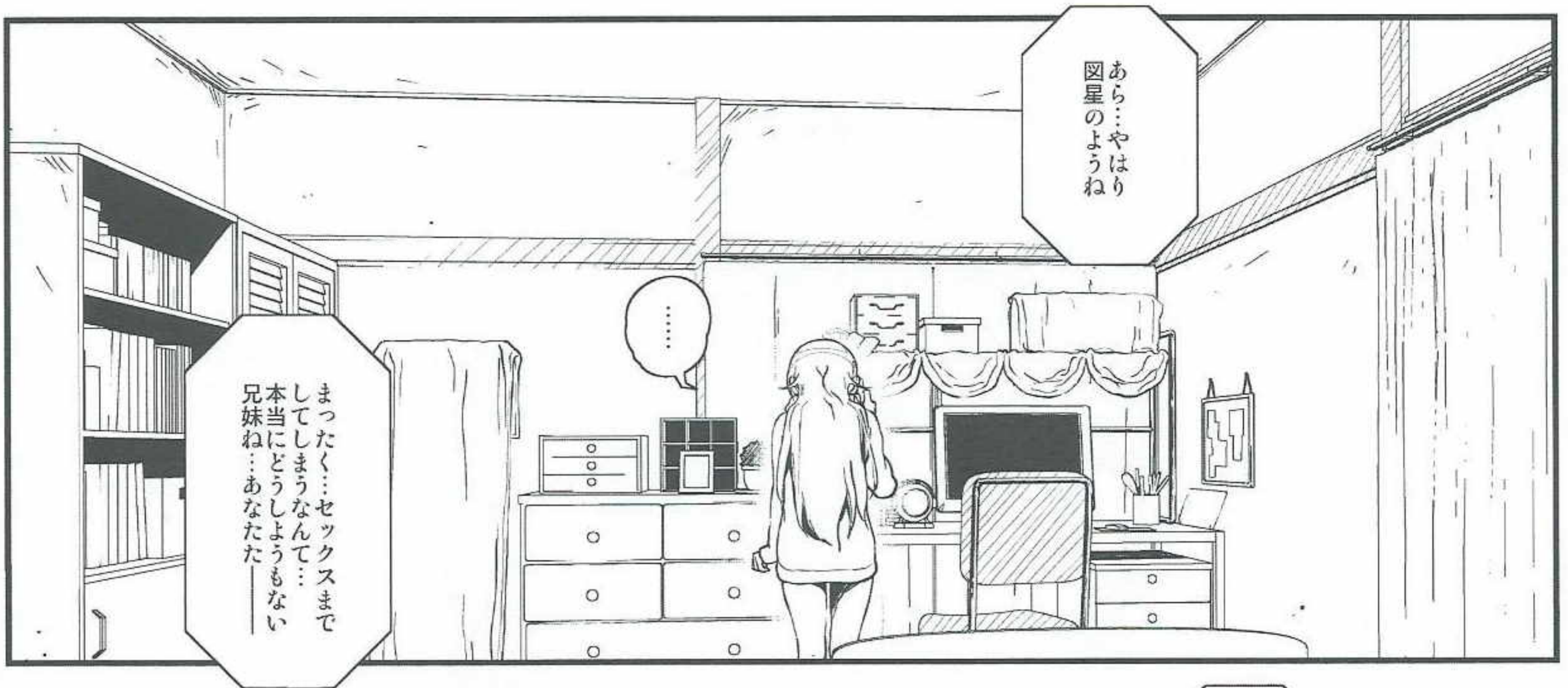
4

可愛い
理由
は
ない



I ore no mou
onnani kawai
wake ga nai





あら…やはり
図星のようね

まったく…セックスまで
してしまうなんて…
本当にどうしようもない
兄妹ね…あなたた

…



お願い…誰…にも
黒猫…言わない…で

桐乃…?

京介と…一緒に
いられなく…
なる…



あたしだって
分かってる!
兄妹でしちやいけない
ことだったって!!

ちよっと…!?
桐乃…

でもっ…!
あたしはただ…
京介と



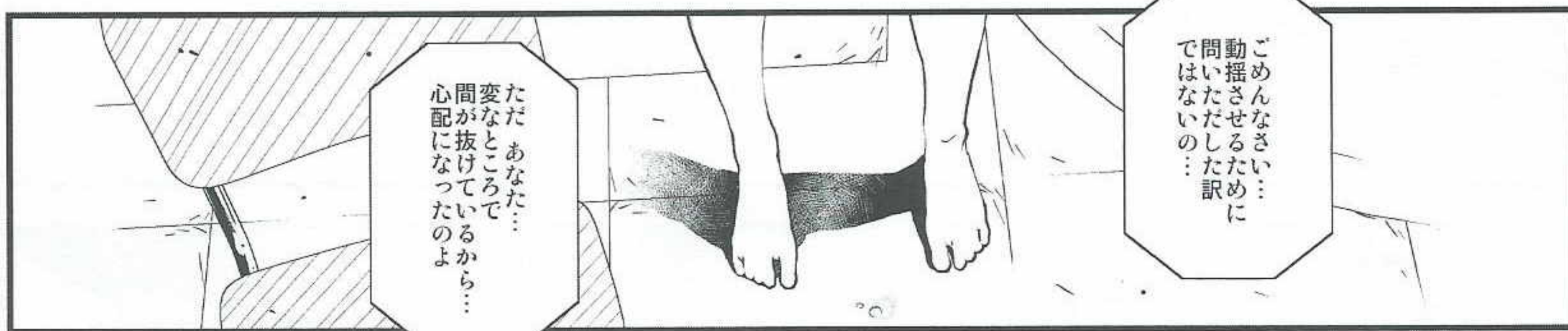
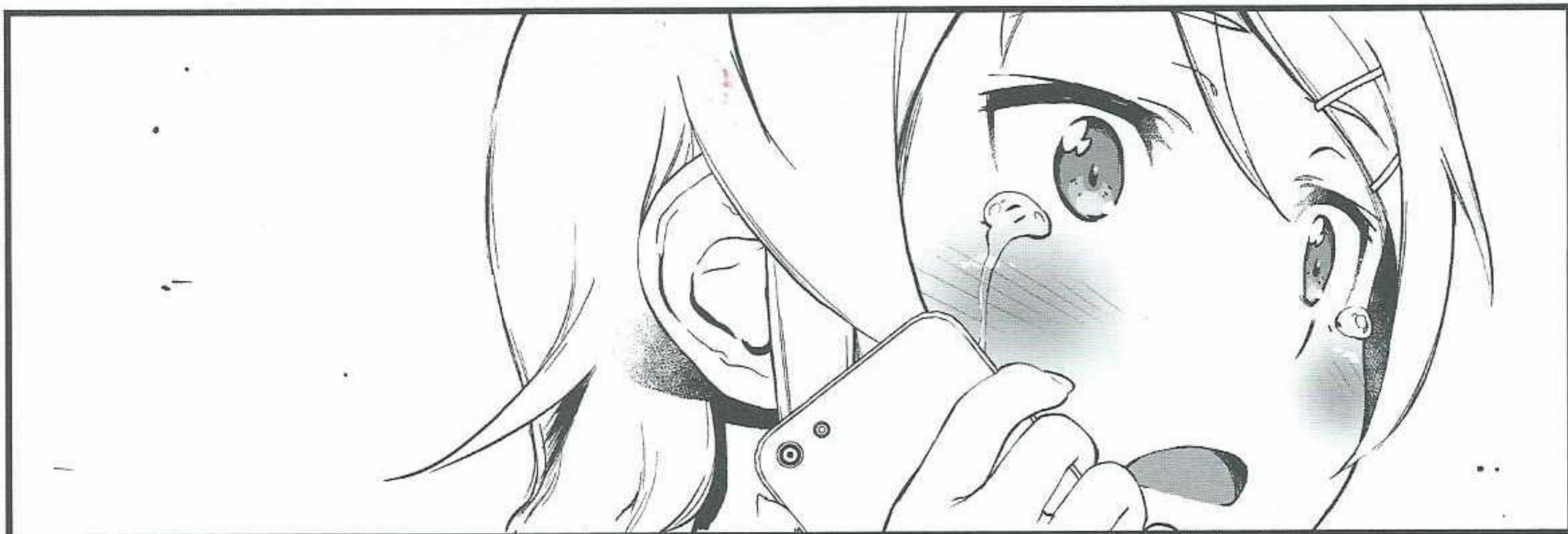
良い?
良く聴きなさい…



落ちつきなさい
桐乃!!



世界中の人間が
あなたたち二人を
否定したとしても
私だけは味方よ



ごめんなさい…
動揺させるために
問いただした訳
ではないの…

ただあなた…
変なところで
問が抜けているから…
心配になったのよ



このこと…当然
ご両親は知らない
のでしょうか？

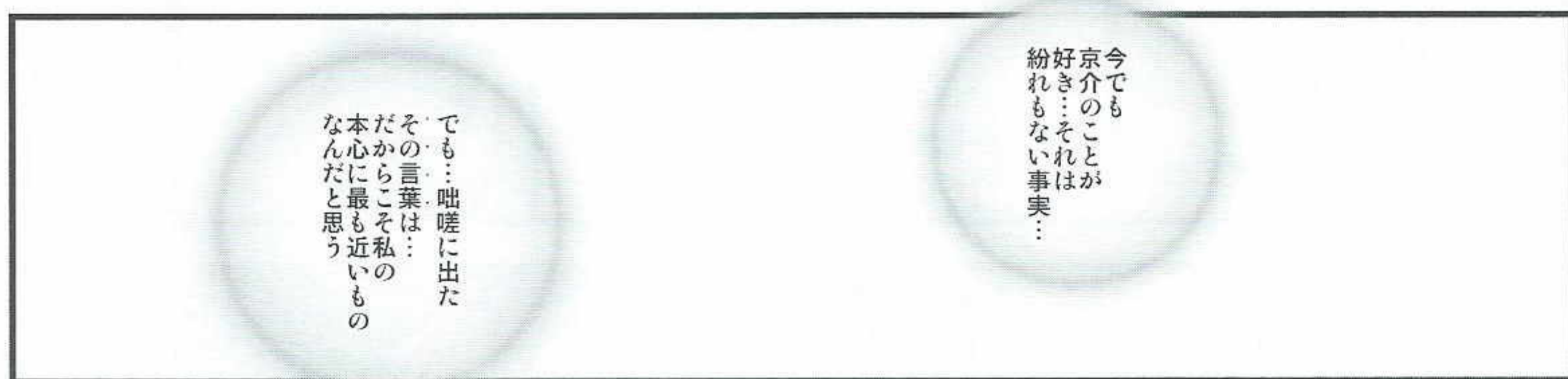
…
うん…

これからどうする
つもりなのか…
詮索するつもりは
ないけれど

隠し通すつもりなら
バレない様に
気をつけなさい…

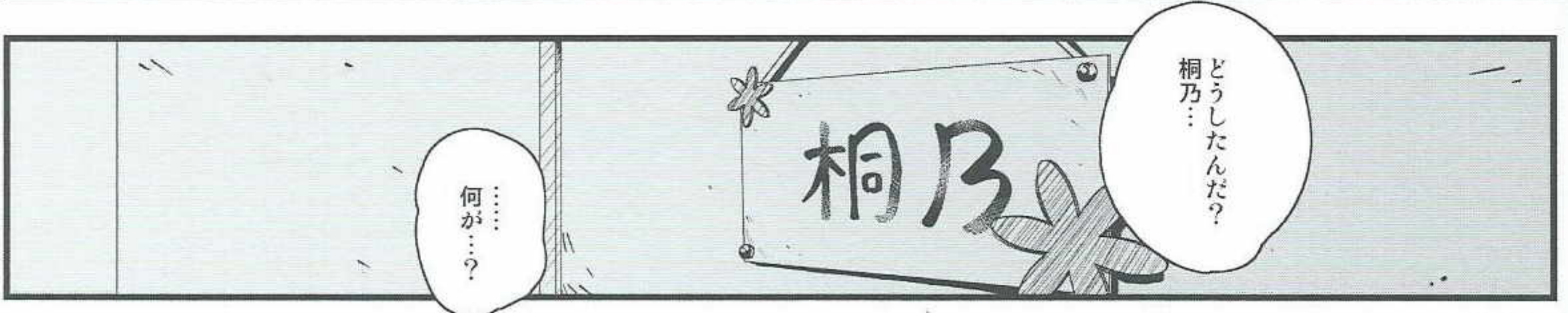
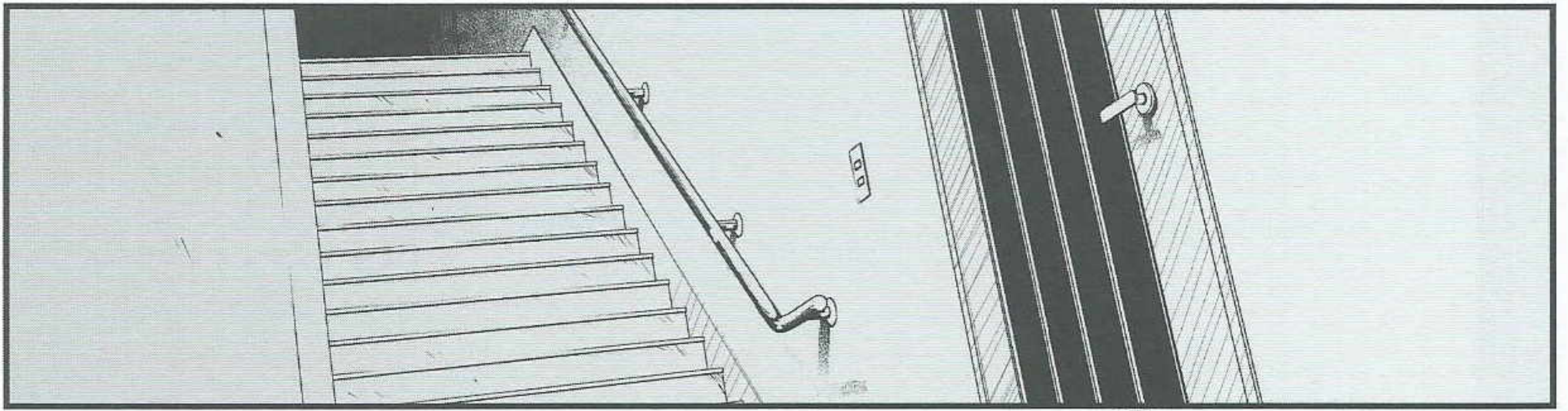
…

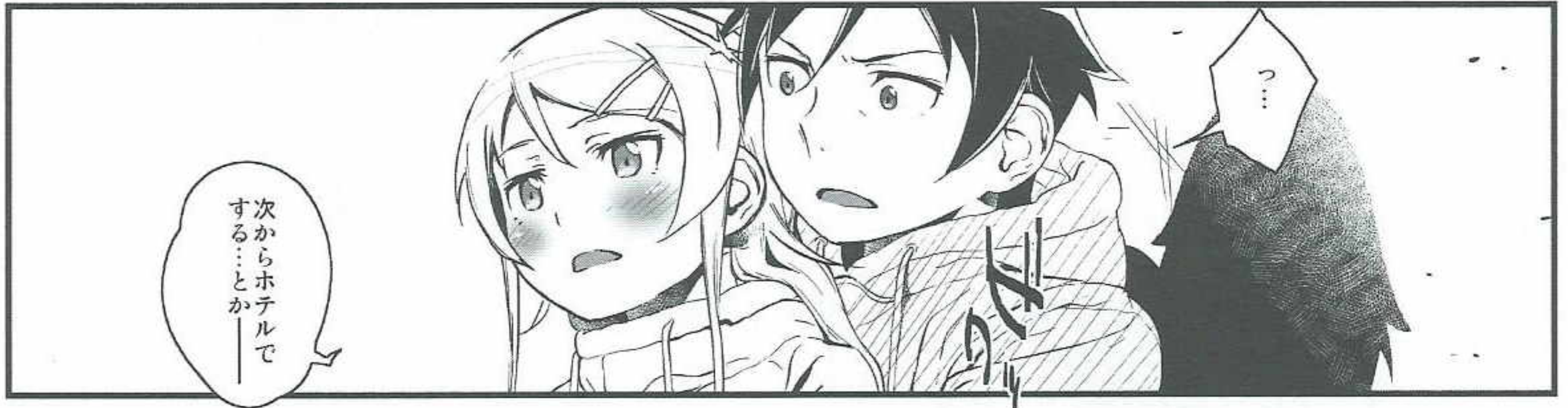
それを…伝えて
おきたか？
…桐乃？

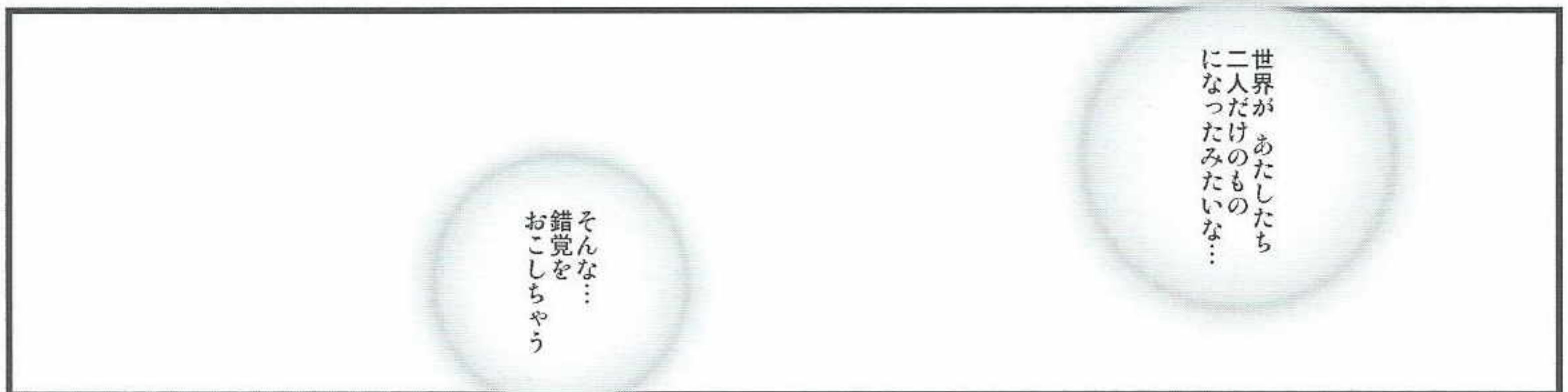




翌日の桐乃の様子から
何かがあつたことは明らかだつた：
黒猫とそんなやり取りがあつたことは
このあと少ししてから知ることにな
るんだが——







俺も桐乃も分かっていたんだ…
この関係が続けるには駆け落ち
するしか手段はないってことを

ホ…ホテルとか
よく分かんないけど…

とにかくこれからは
そういう風にしよう
ってこと…いい？

おう…
わかったよ

お前がそうしたいって
言うんなら…

…ん

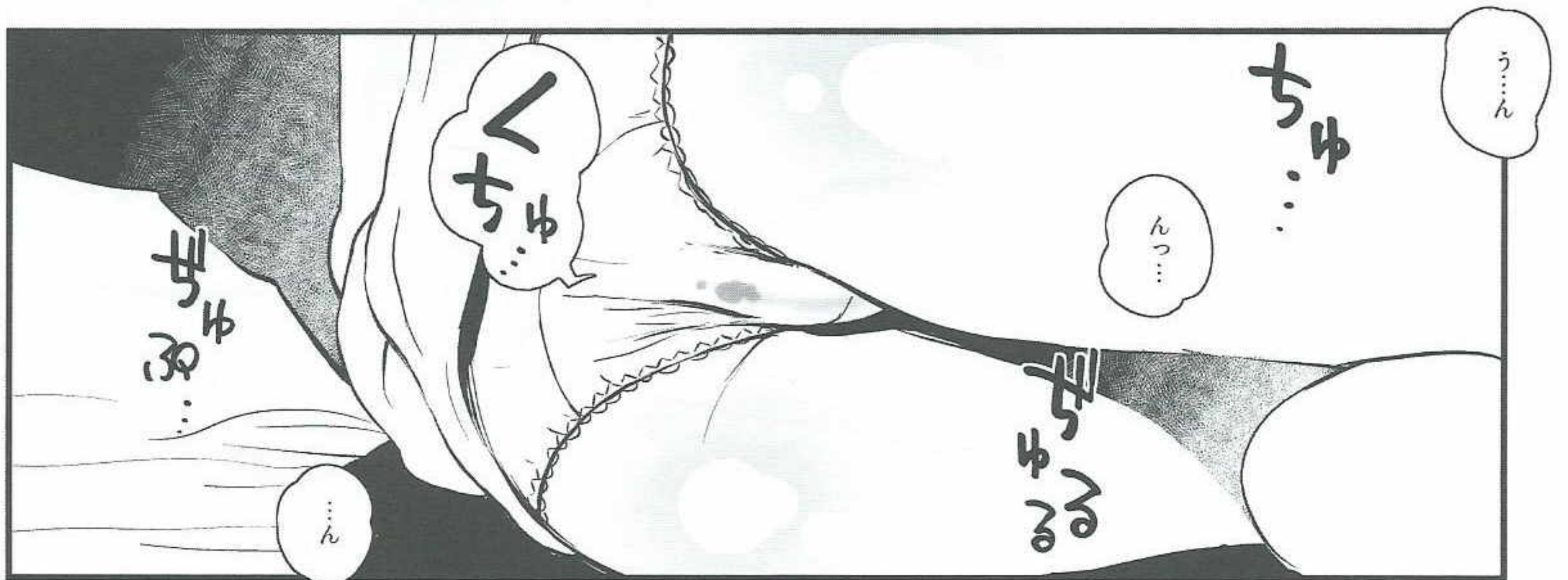
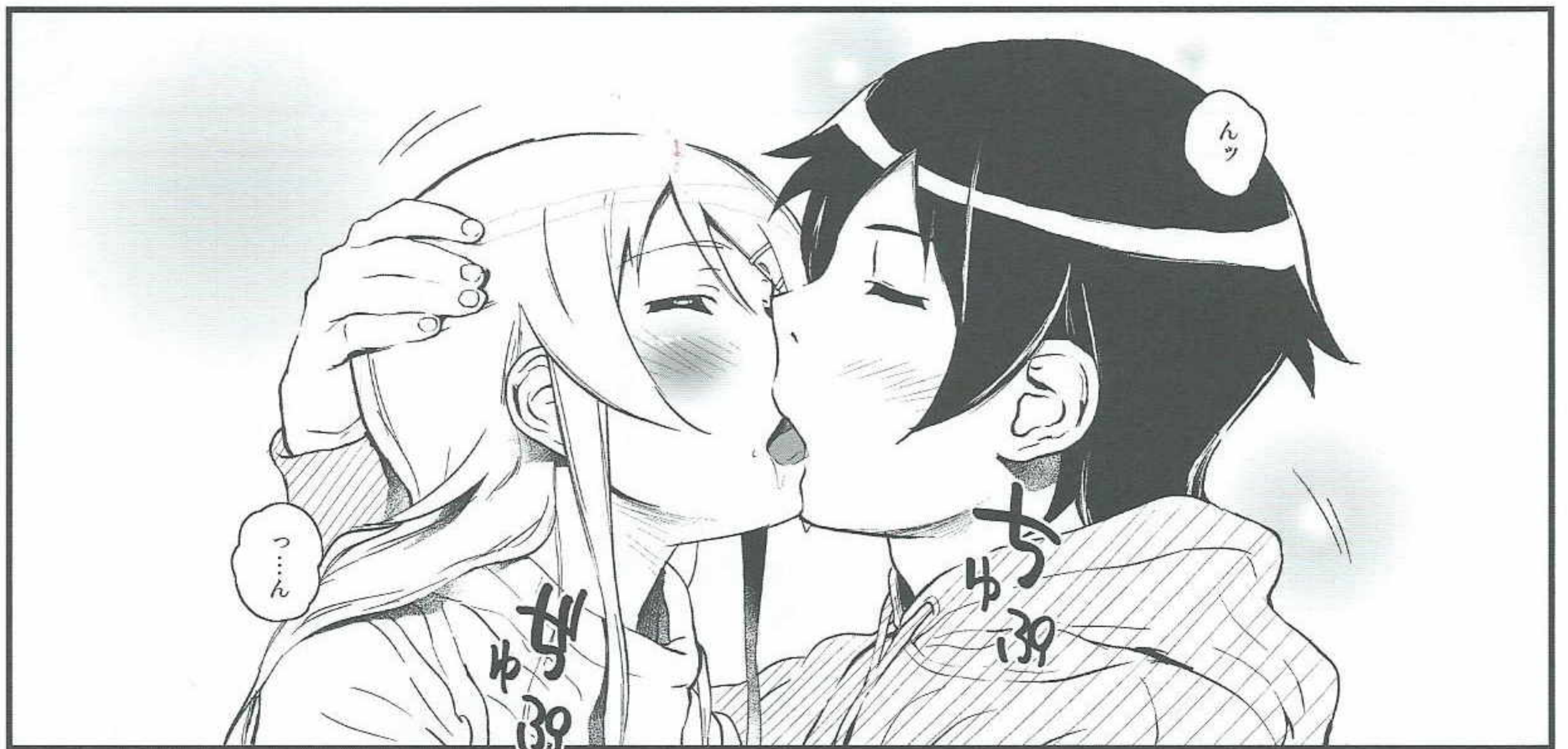
それでも踏ん切りが
つかなかったのは…

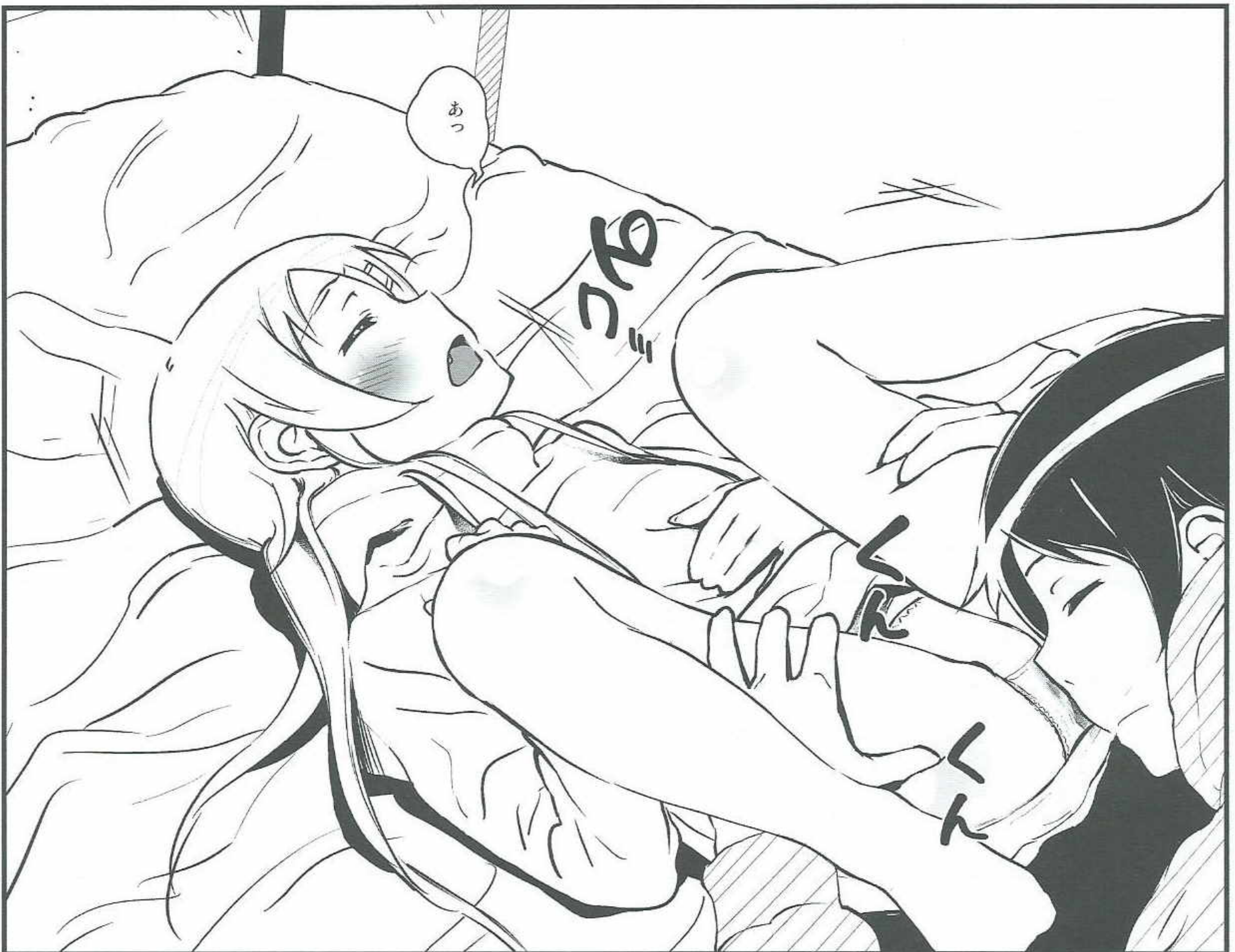
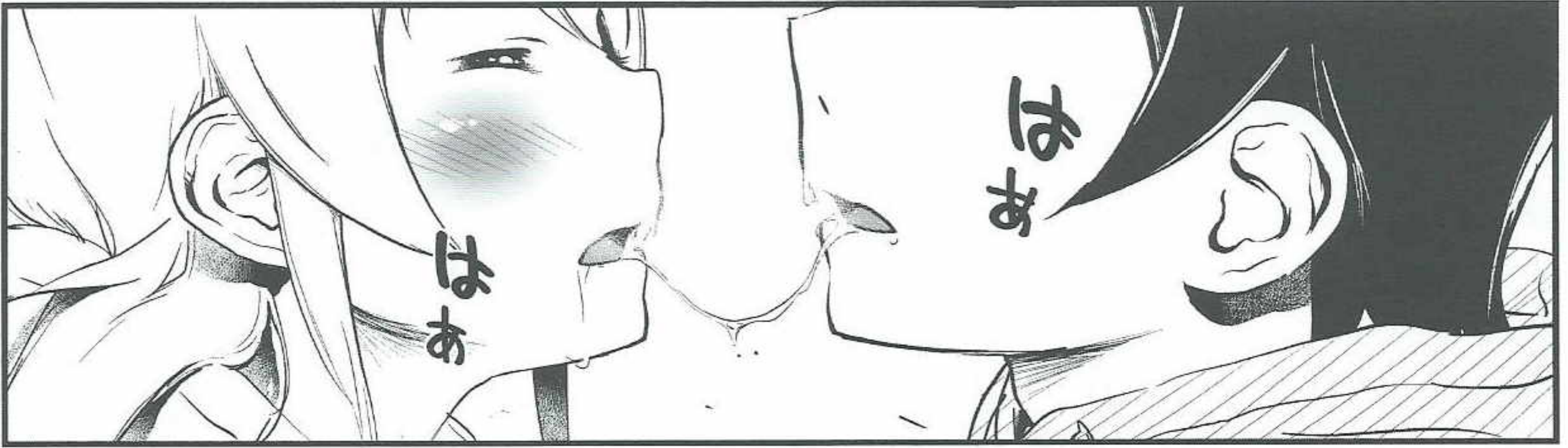
今までの日常と
この異様な非日常と
どちらも同じくらい
大切だったから…

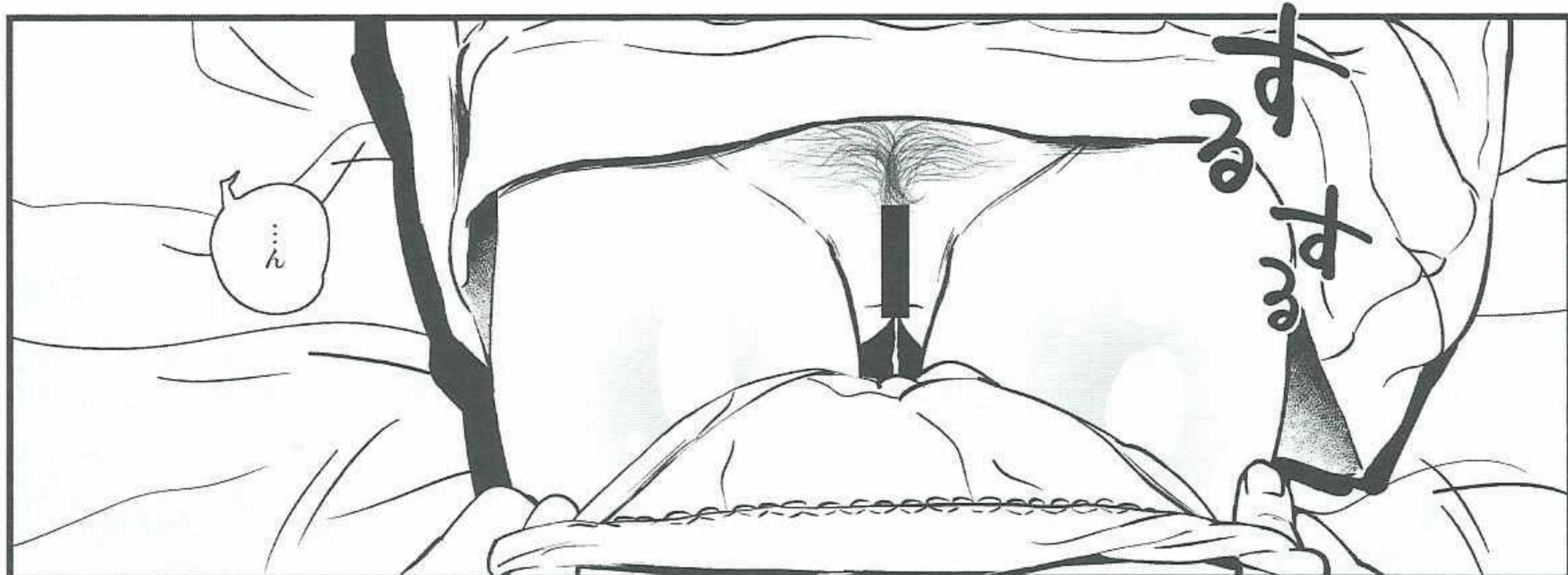
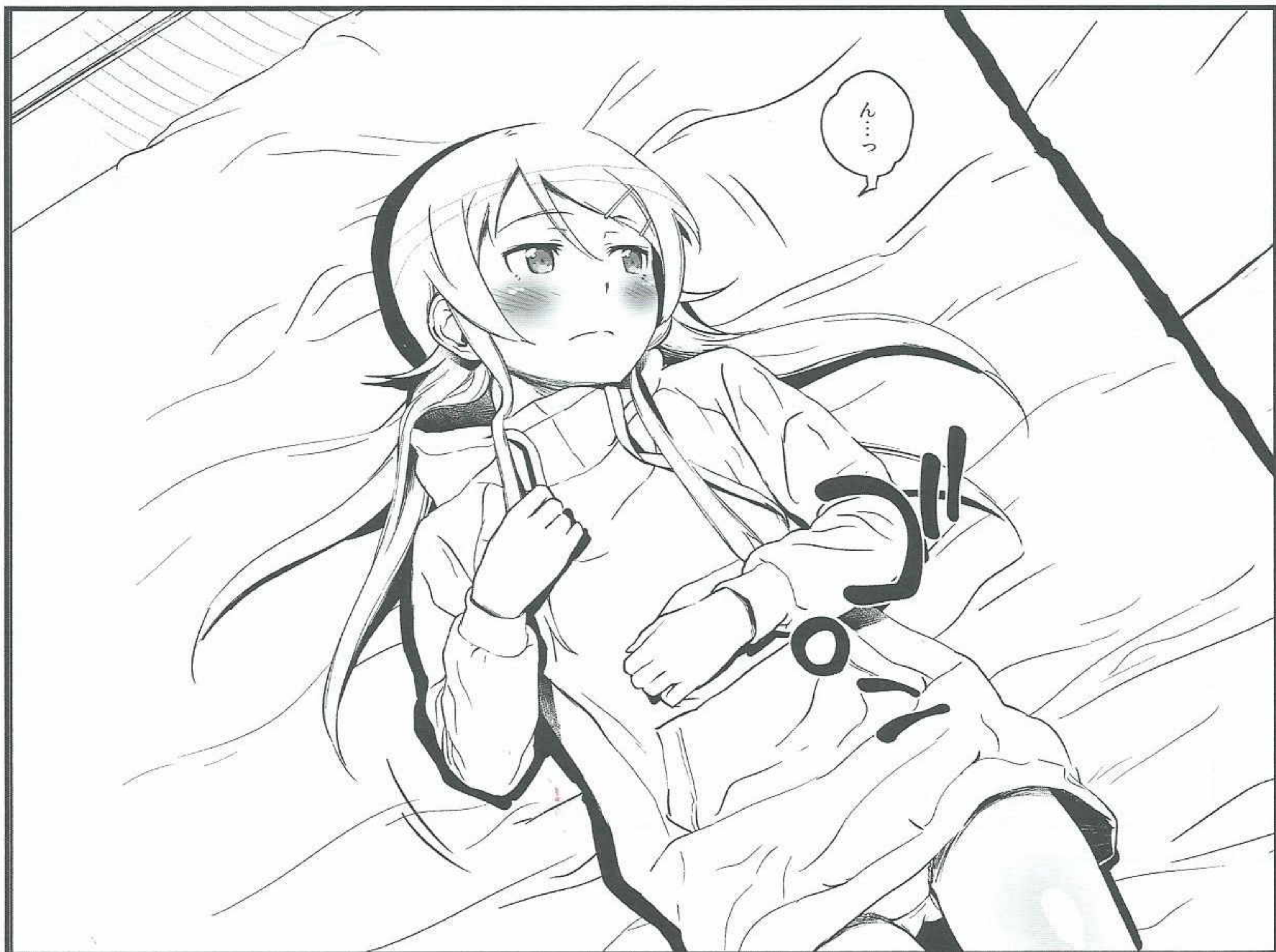
黒猫と…沙織と…あやせと…
あいつらと話して一緒に
いる時間はすっげえ楽しいし
幸せだって感じるんだらう…
俺も同じだ

でも…二人きりで…こうやって
イチヤついて…キスして
セックスしてる時間も
めちゃくちゃ心が満たされてさ











ん？
ああ…遠慮すんなよ
平気だって…
そんな臭くねえから

あたしそんな
こと言っ
てないよ…
ってかそれ臭いって
言われてるような
もんなんだケド？



いや…そういう訳じゃ
なくてさ…
お前好きだろ？
クンニされんの
ってあれ？

むっ



…あんな…昨日
自分で言ったこと
覚えてないワケ？

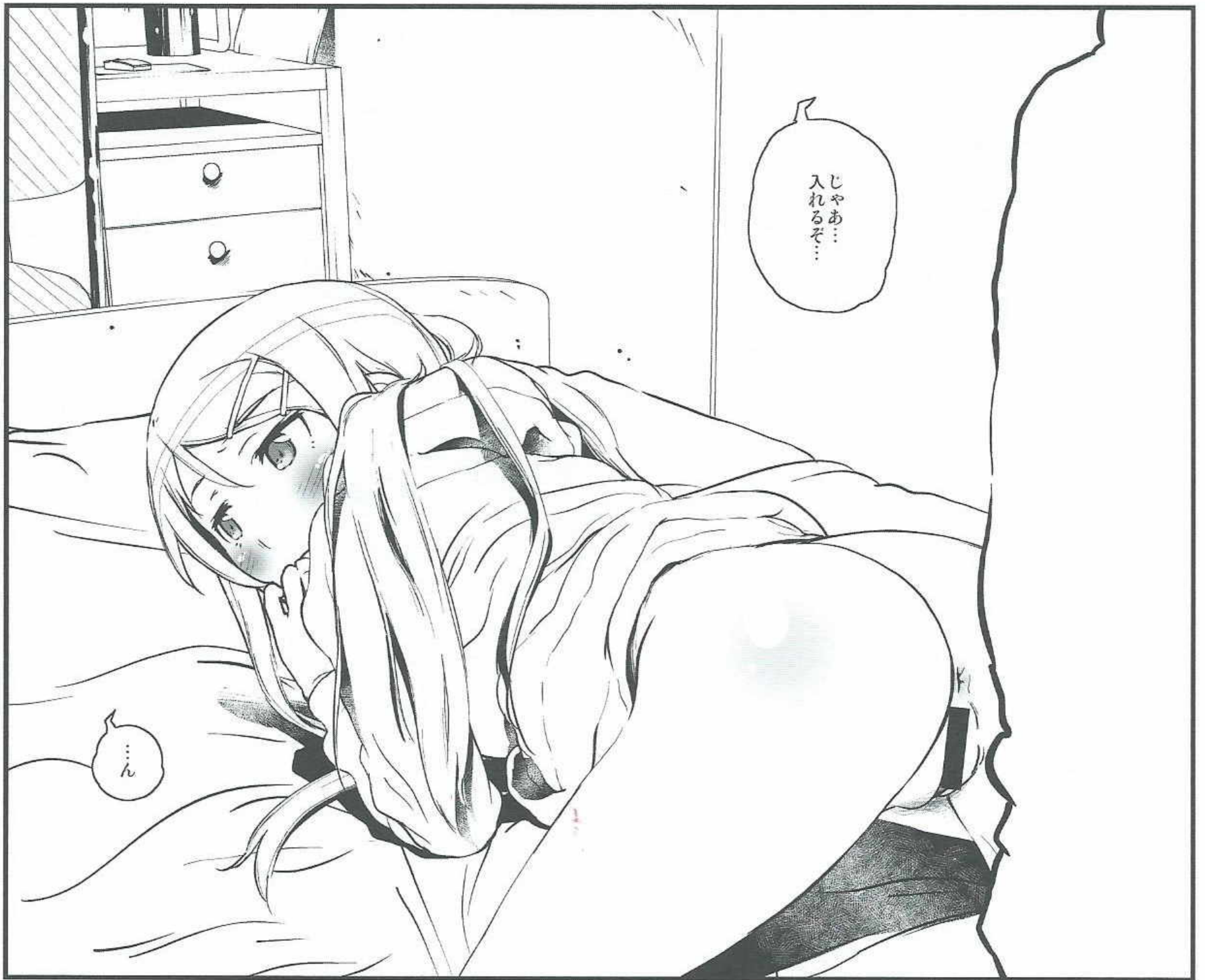
昨日？

サイテー…
ちゃんと自分で
言ったことに
責任もってよね

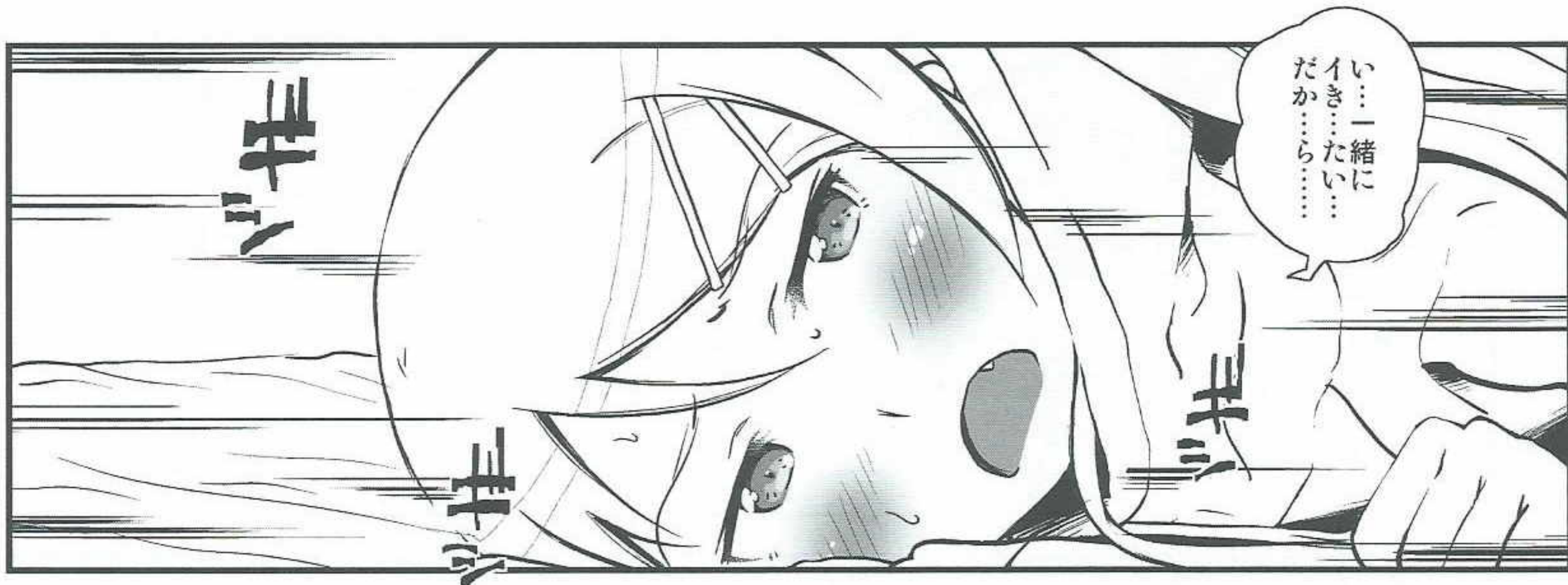
なんか
言っ
たっ
け
俺…？

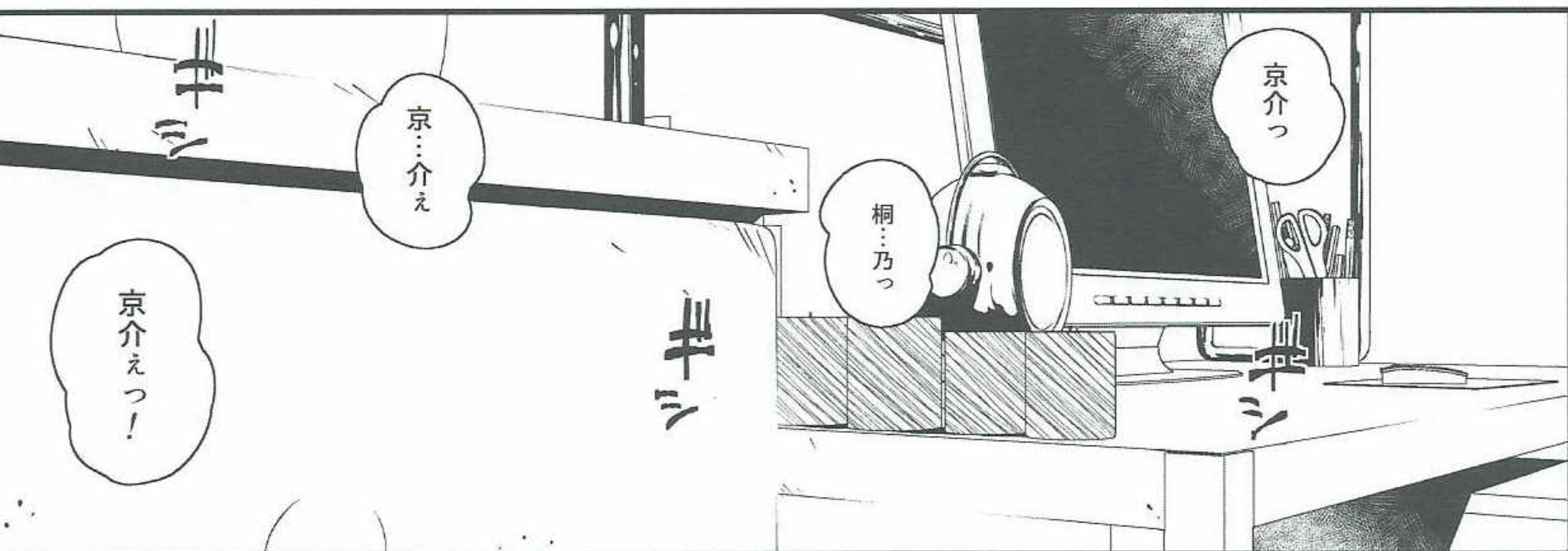
だ〜か〜ら〜













桐…乃っ
もう…
出さなきゃよ
……



もうちょっ…と
我慢してっ…よ…

お…
男っ…でしょ…



待ってっ…
もう少し…

マジで…
もう…無理



イクっ!
イクイクう!!

あっ…
イキそう…



んっ...
んっん!!

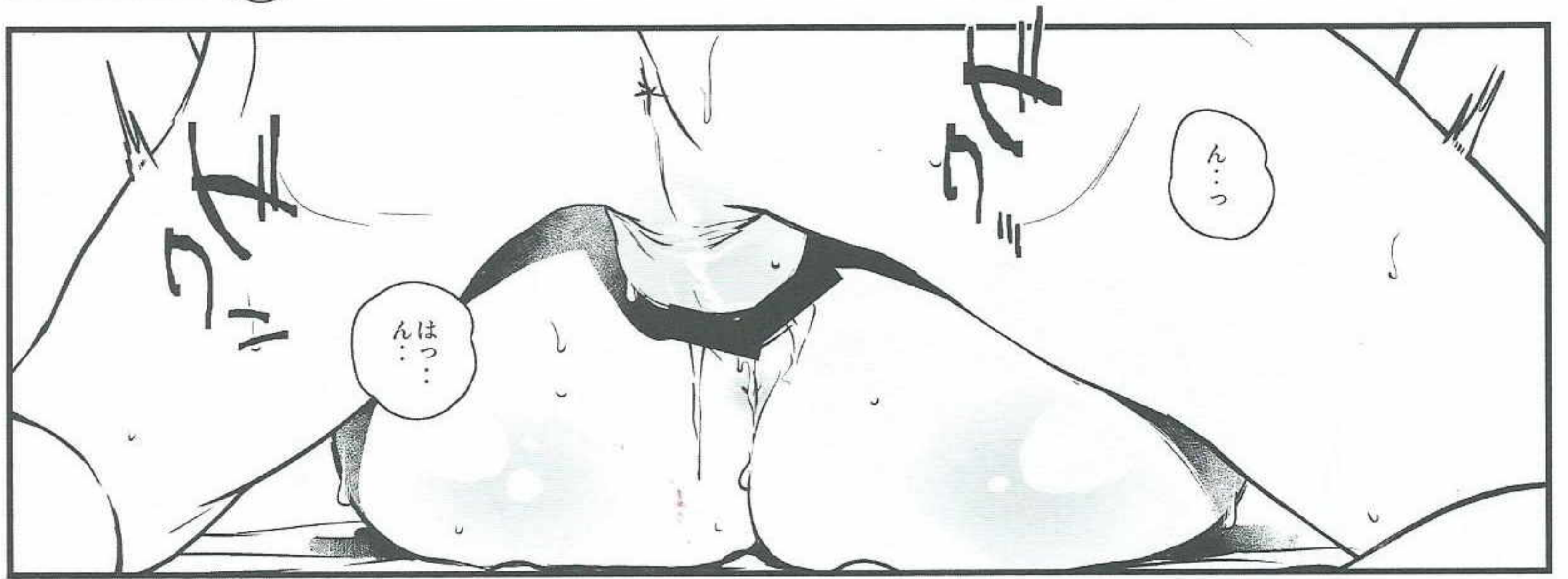
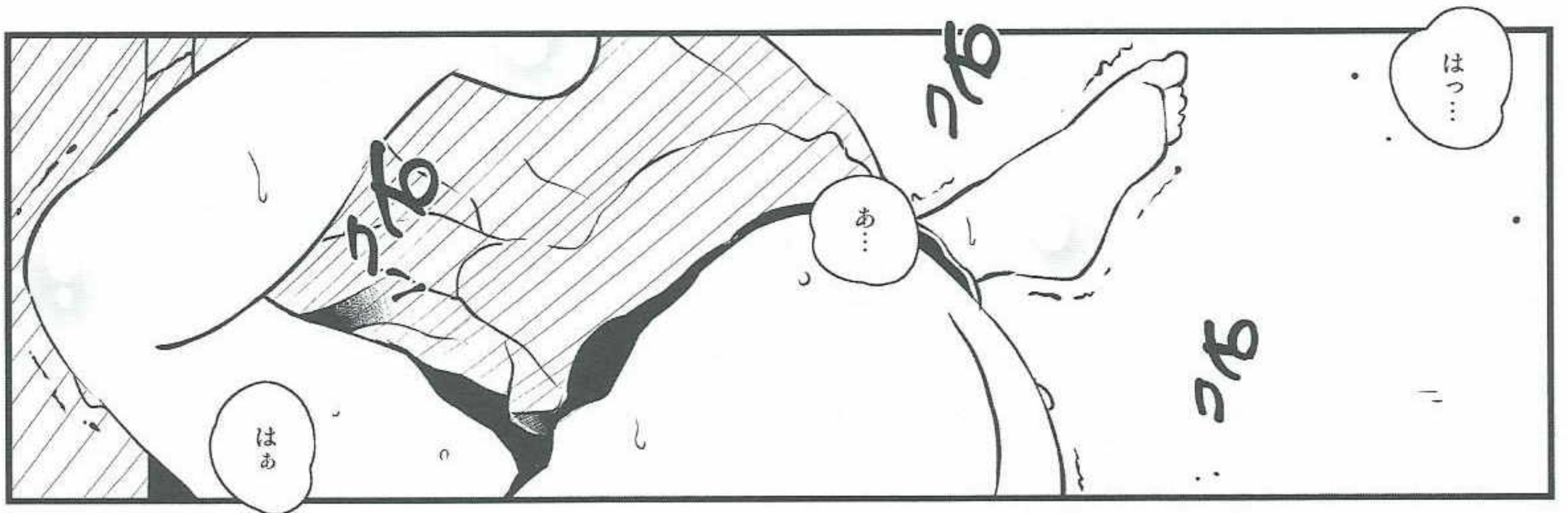
んんっ!!!

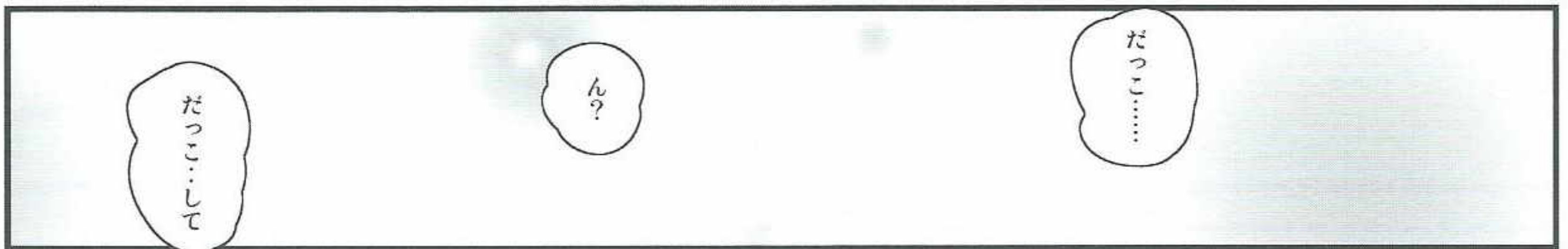
サッ

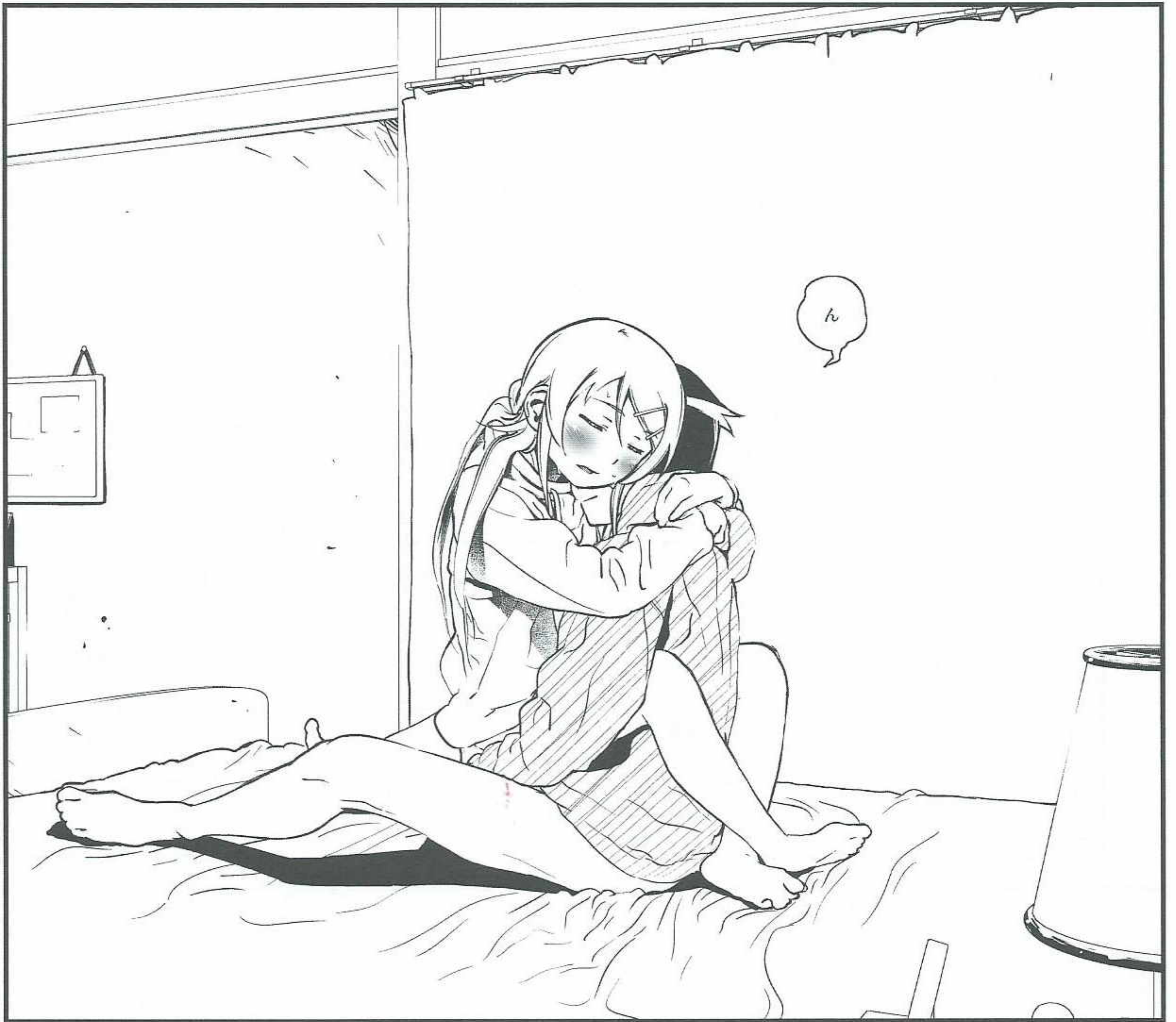
サッ

っ!!

サッ







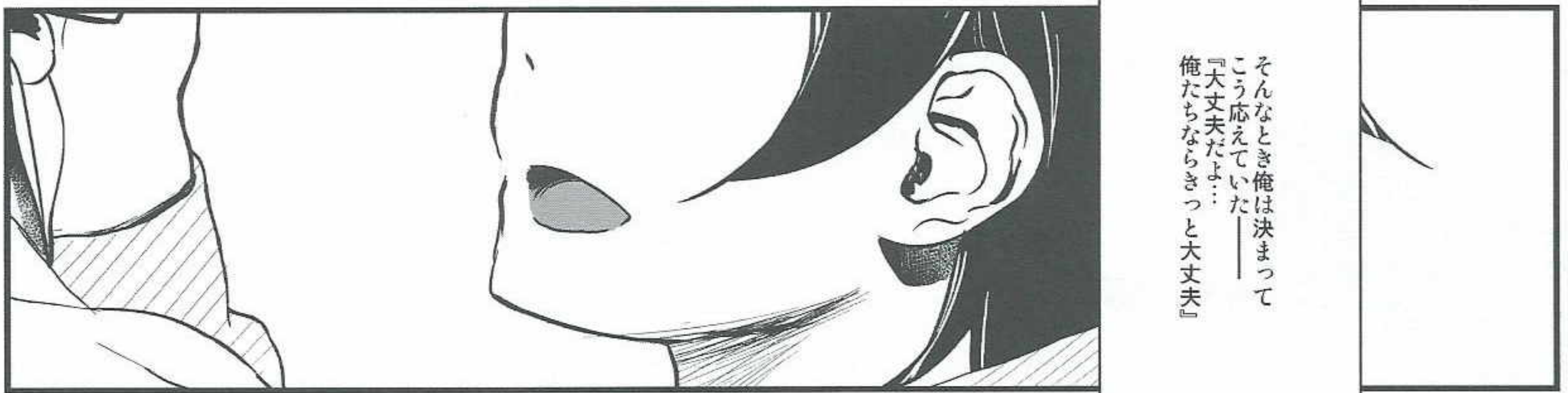
桐乃が口にしようとした言葉が：俺にはなんとなく分かってしまった



『全部捨てて二人っきりで
どこかへ——』
桐乃はそう言おうと
したんだ……きつと



俺も同じことを考えることが
数え切れないほどあったからな



そんなとき俺は決まって
こう応えていた——
『大丈夫だよ……
俺たちならきつと大丈夫』

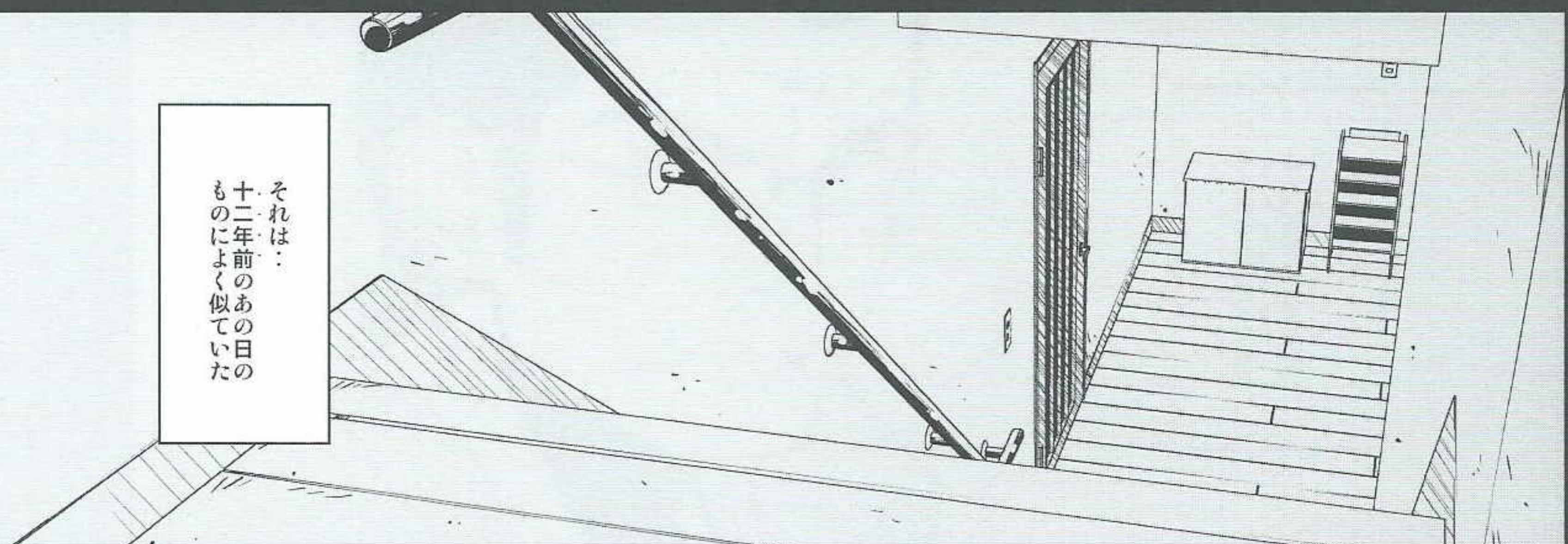


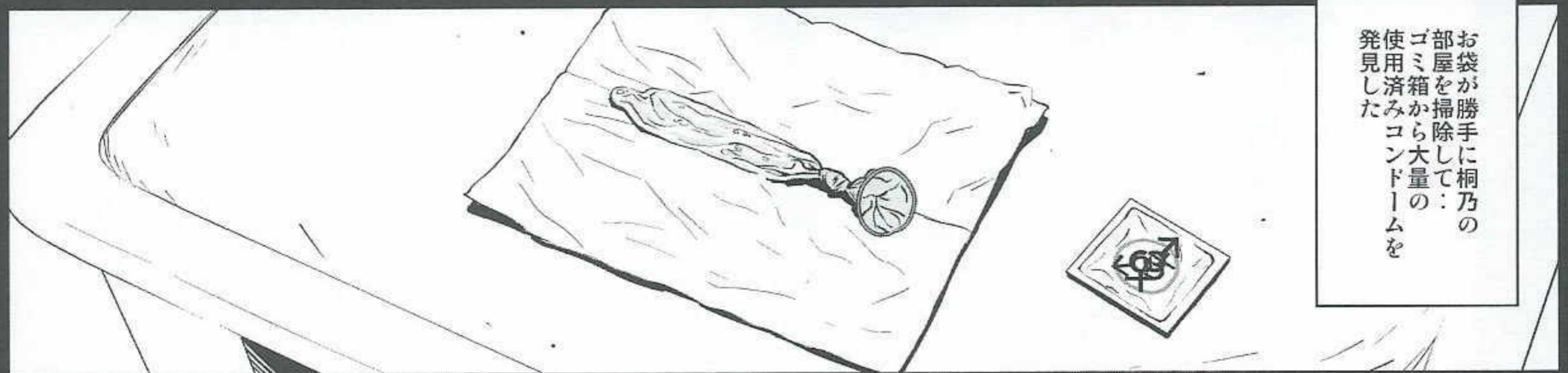
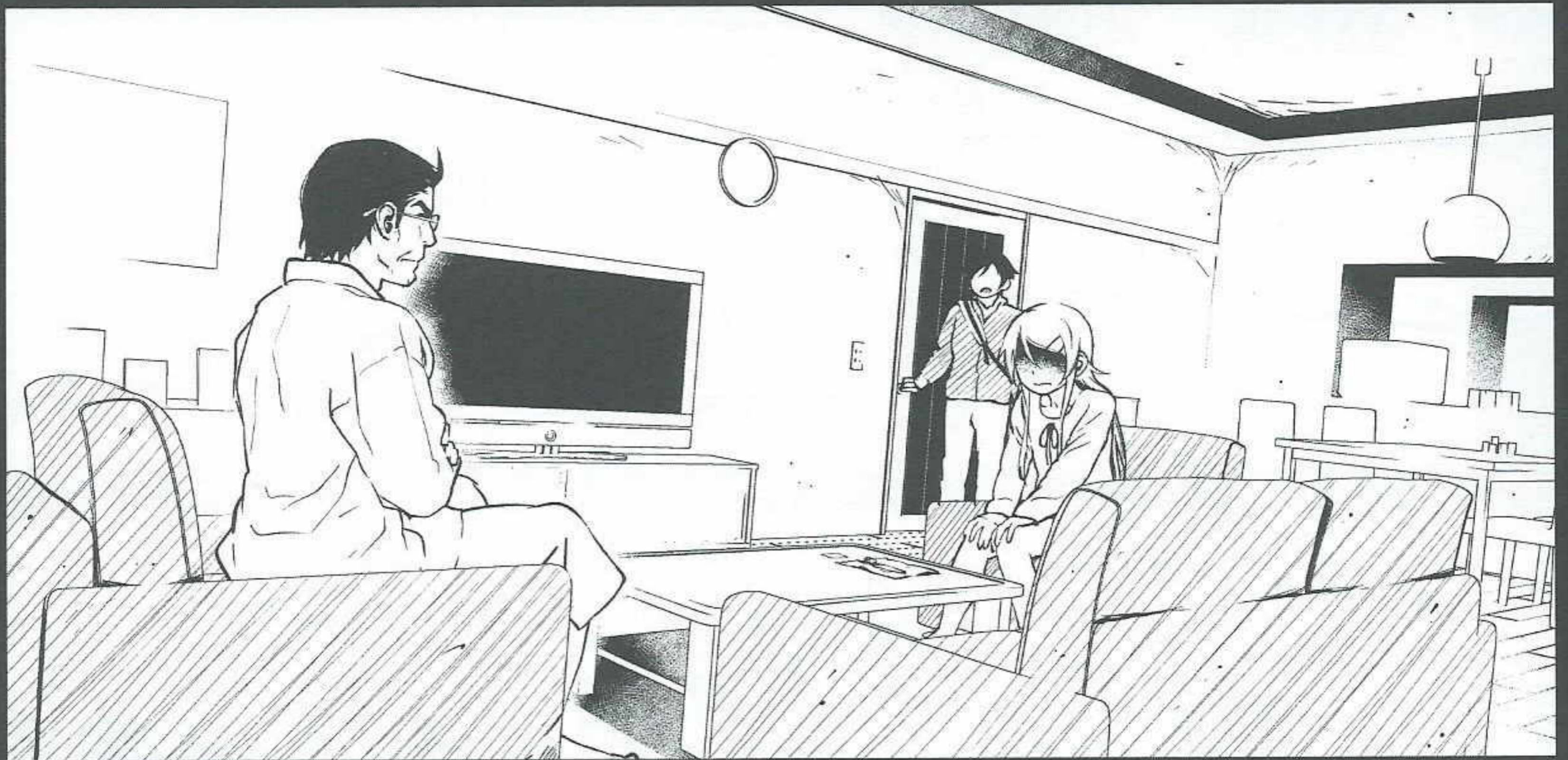
相変わらずなんの根拠も
なかったのに……
そう思い続けていれば
何とかなるんじゃないかって……
俺も桐乃も思っていたんだ

でも…思い通りにことは
進まないもんなんだよな…



このあとすぐに：
俺たちはそれを痛感する
ことになる







問い詰める親父と
答えられない桐乃…
でもそれは肯定以外の
なにもでもなく…



そんな事実を知った親が
とる行動といえは一つしか
ないよな

…そういうことだ…
この日を境に…
俺たち兄妹は離ればなれになった

星くず☆ナミダ④

発行日:2014.9.30

発行:†NIL†

発行者:フジバヤシ春

印刷所:ねこのしっぽ

MAIL>>> hal.0.fujibayashi@gmail.com

